

【レポート】

現代の社会は、夫婦共働きや、少数家族の増加などから「地域で子ども若者を育てる」という事がどんどん難しくなっている。更に、2020年に流行した新型コロナウイルス感染症の猛威により、学校行事や祭事などが相次ぎ中止になり、他者と交流できる機会は益々減少してしまった。そんな中、当協会で実施している「地域通貨」の事業を通じた、若者が他者として地域と出会い、交流を深める取り組みの必要性について提言したい。

若者と地域住民とのつながりを、「地域通貨」でつくる

京都府本部／公益財団法人京都市ユースサービス協会職員組合 清水 方人


令和6年度 京都自治研修会 レポート

若者と地域住民とのつながりを、
「地域通貨」でつくる

京都市ユースサービス協会職員組合
清水 方人

◆本日の内容◆

- ①（公財）京都市ユースサービス協会について
- ②地域通貨「べる」～地域で子ども若者を育む・支える取組み～
- ③これからの「べる」について考える



① (公財) 京都市ユースサービス協会
について

1、(公財)京都市ユースサービス協会について

(公財)京都市ユースサービス協会とは



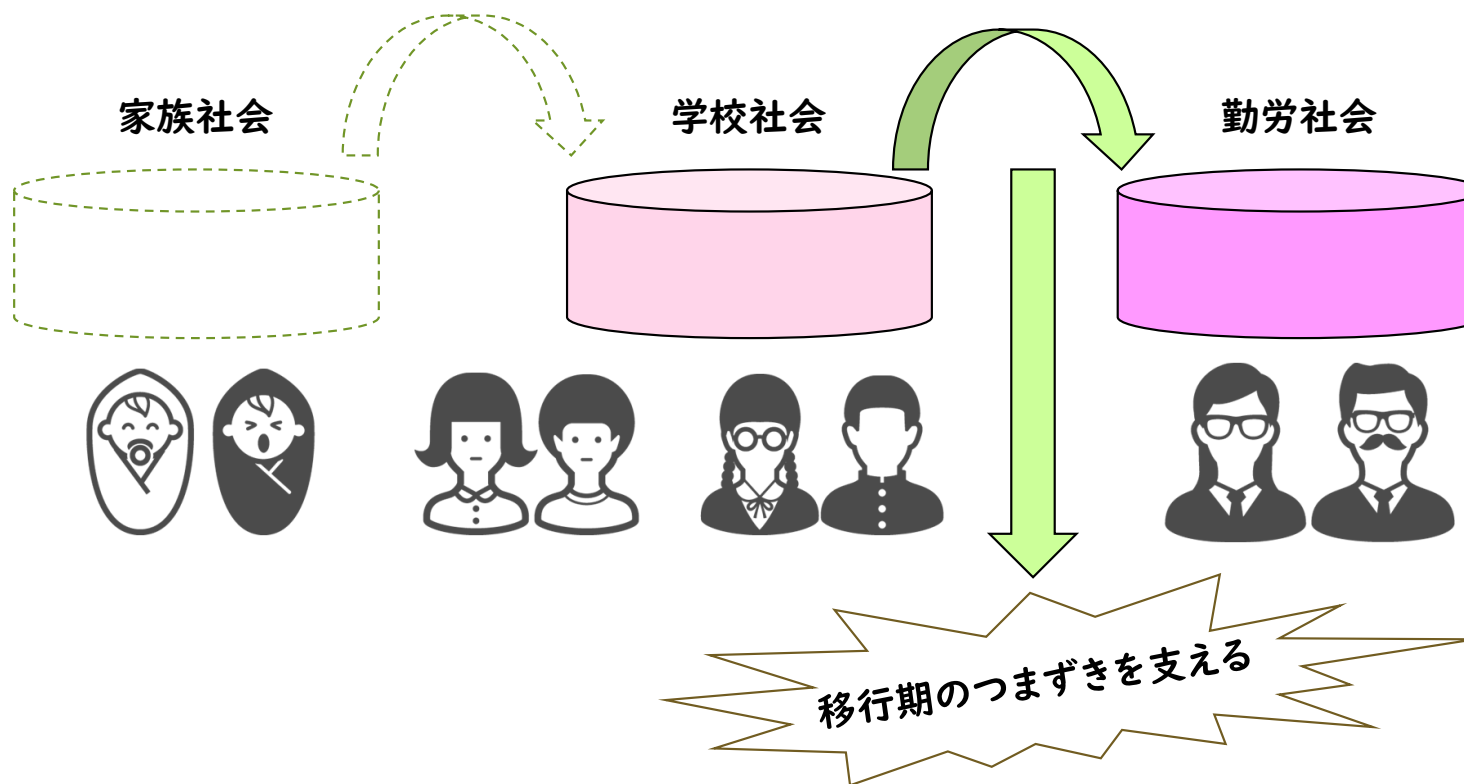
- 運営形態 指定管理者として、京都市から委託を受けて運営
- 全センター利用者数 年間50万人(令和元年度実績)
- 職員数 約60名
(各センタースタッフ数:平均6名、2交代で運営)
*ユースワーカー4~5名、補助スタッフ1~2名
- 施設のはじまり 1960年代 勤労青少年ホームとしてスタート
⇒「出稼ぎ労働者への余暇支援」が目的
- 運営時間 朝10時から21時まで(日祝日は18時まで)
毎週水曜日、年末年始のみ休館
- 対象 13歳から30歳まで、青少年の育成にかかわる人
⇒中学生(13歳)から大学生(22歳)までは無料



若者とともに「ミライ、×ツクル」をテーマに活動
2023年で35周年を迎えました。

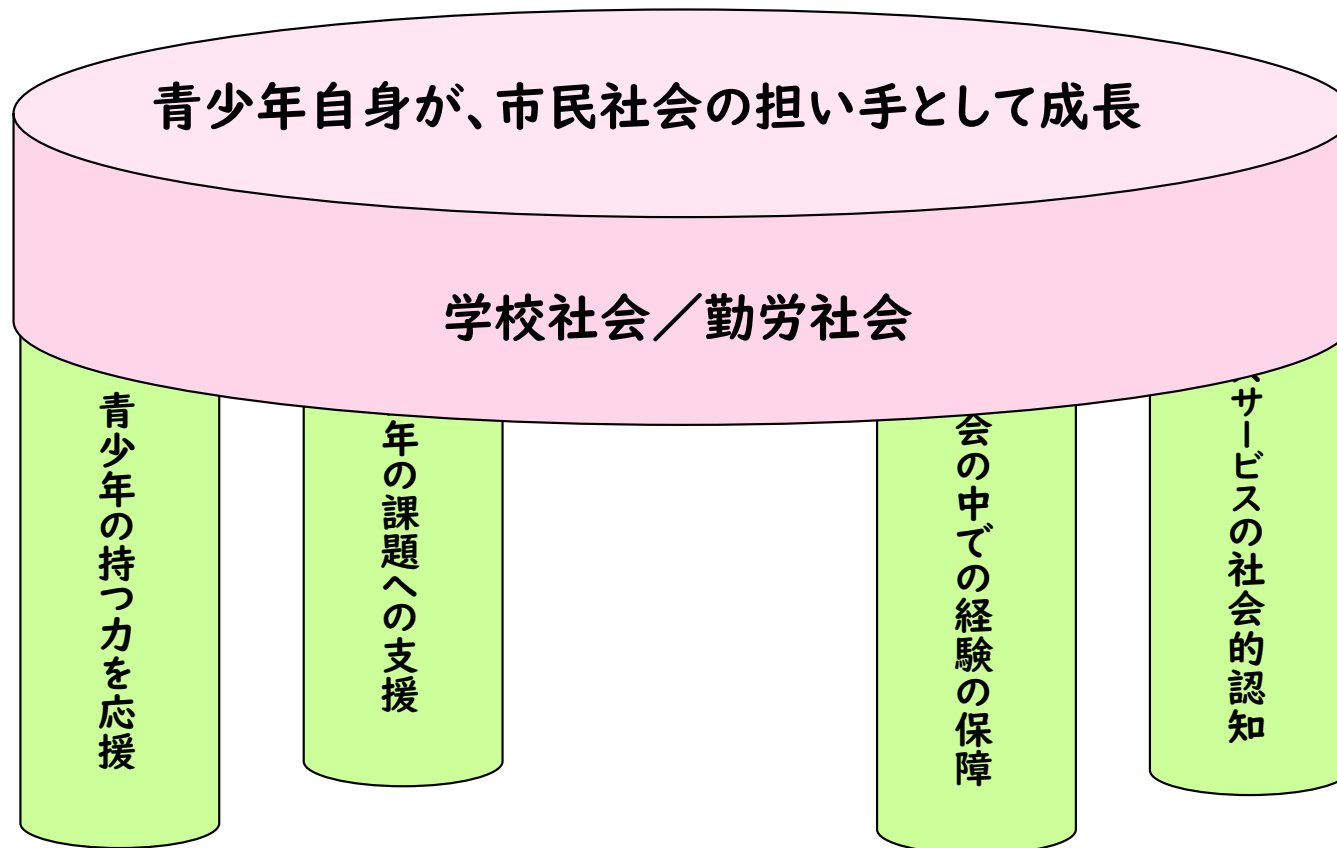
1、(公財)京都市ユースサービス協会について

青少年の“移行期”を支援します



1、(公財)京都市ユースサービス協会について

京都市ユースサービス協会 4つの柱



1、(公財)京都市ユースサービス協会について

京都市ユースサービス協会のふたつの側面

大人になるための学び

役立ち感や達成感、葛藤を経験できる
様々な機会、場の提供を通して

- 居場所づくり
- 放課後の余暇支援
- 文化活動、スポーツ等の活動支援
- ボランティア活動
- まちづくり等の地域参画 等



- ひきこもり支援
- 就労支援/中間就労の仕組み作り
- 相談活動
- 学習支援、高校中退予防
- ピアサポートの実施 等

課題解決を手助けする

顕在化した課題に焦点をあて



②地域通貨「べる」

～地域で子ども若者を育む・支える取組み～



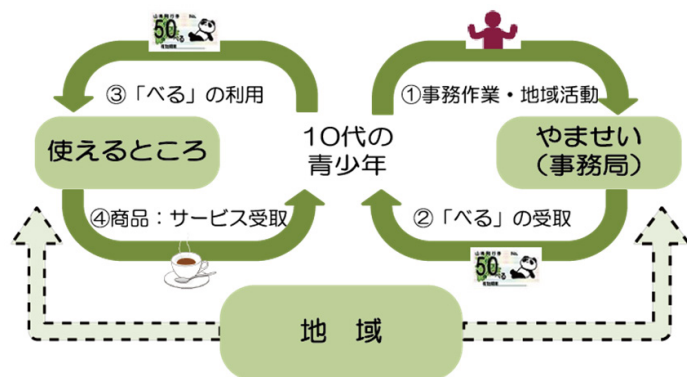
2、地域通貨「べる」

地域通貨「べる」

誰かの役に立って まちで使えるお金を手にいれる

1 べる = 1 えん

◆運用概略図



たべる

あそべる

まなべる

Ring the **bell**

2015年 はじまり



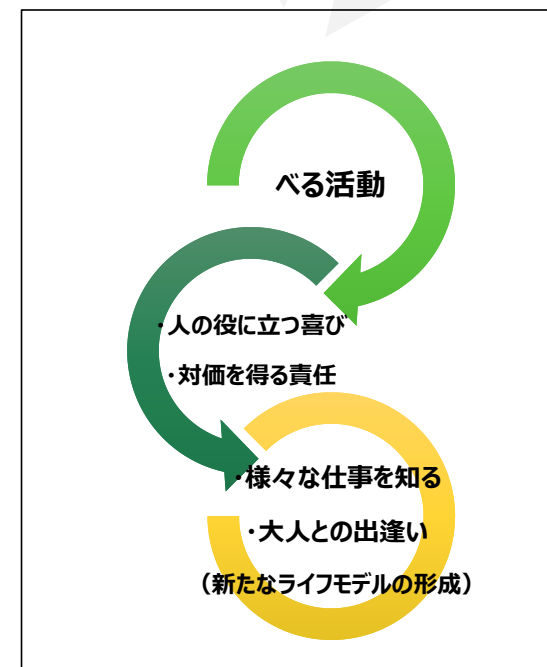
べる紙幣



2、地域通貨「べる」

「べる」の目的

1. 青少年の働く意識の向上を
2. 地域の中で青少年に役割を
3. 青少年と地域がつながり、支えあえる土壌
づくりを



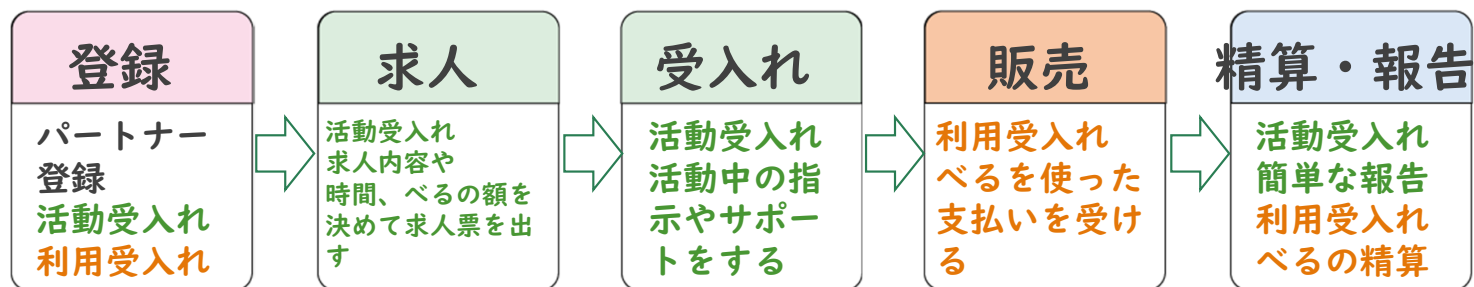
「べる」活動のイメージ図

2、地域通貨「べる」

「べる」活動の流れ(青少年)



「べる」活動の流れ(店舗)



◆求人票

The job posting form includes the following information:

- WANTED** (求人票)
- クリスマスツリー飾り** (Christmas Tree Decoration)
- 30分** (30 minutes)
- 300 べる** (300 beru)
- Rating: ★★★★★☆
- Location: クエスト404

◆報告書

The activity report form contains the following sections:

- 活動報告書** (Activity Report Form)
- Activity ID: 11/23
- Start Time: 16:45
- End Time: 18:00
- Activity Title: クリスマスツリー飾り
- Partner: 〇〇〇
- Activity Description: 〇〇〇
- Partner's Role: 〇〇〇
- Partner's Reflection: 〇〇〇
- Activity Start/End: 19:55 ~ 19:70

2、地域通貨「べる」

べる活の活動の様子①

センターの中で

館内の作業の手伝い（掃除や小修繕）や活動に必要な作業の手伝い（発送作業・掲示物作り・看板作り・メニュー作りなど）



2、地域通貨「べる」

べる活の活動の様子②

センターと地域の関わりの中で

- ・地域の行事（区民まつり）や地域団体の活動のお手伝い
- ・お店の手伝い（商品梱包）や福祉施設などでの手伝い（植栽の植え替え、季節行事の準備 など）



2、地域通貨「べる」

山科のお店で使える！

※2023年3月現在

- ・・・たべる
- ・・・その他
- ・・・ショッピング

ナゾツジエキ 柳辻駅周辺 その他

いつもと違うところも
楽しいー!!!



クンセイ

⑤ 惣菜マーケット

営業時間：11時半～18時
休日：日・月曜日



こだわり素材の惣菜がいっぱい！

ロッジポール

⑤ Lodgepole

営業時間：11時半～14時半/20時半～23時
休日：月曜（注日はランチのみ営業）



肉を食べたくなった5ココ！

ココヨウコウセン

⑤ 弘福珈琲

営業時間：10時～17時
休日：日曜日



さまざまなコーヒー豆を扱っています

あまんやましな

⑤ あまんやましな

営業時間：10時～17時
休日：火・土・日・祝祭日



「交流の場」。誰でもご利用できます

山科駅周辺



ブンダ

⑤ 文具のタケムラ

営業時間：9時半～18時
休日：日曜日



ペンやノートからハンコまでそろえます！

ヤマシキョテン

⑤ 山科書店

営業時間：10時～20時
休日：日曜日



色んな種類の本やマンガがあります

マルコク

⑤ 丸福うどん

営業時間：11時～15時
休日：土日祝日



山科の老舗うどん屋さん

ゴジヤウス

⑤ ゴジヤウス

営業時間：9時～18時
休日：木曜日



クッキーもおいしい手作りカフェ

カフェスマイル

⑤ Café SMILE Again

営業時間：9時～17時
休日：日曜日



アウトホームな雰囲気のカフェ

めんめん

⑤ めんめん

営業時間：8時～14時（金土日は11時まで）
18時～翌3時（水曜日は0時まで）



手打ちうどんの人気店 ※木曜定休

おぶくろ亭

⑤ おぶくろ亭

営業時間：8時～19時半
休日：木曜日



美味しいお弁当が買えます！

フォーสบライスキッチン

⑤ 4 Spice kitchen

営業時間：11時半～14時/17時～21時半
休日：木曜日・金曜日



うまいハンバーガー5ココ！

ジカバイセンコーヒーフナコ

⑤ カフェX自家焙煎珈琲 船越

営業時間：8時～23時
休日：火曜日



おしゃれな店内で本格コーヒー

気になるお店は
見つけたかな？



べる 使えるお店・活動場所

べる 利用可能店舗MAP 16店舗 (2024年4月時点)

青少年が「べる」をお店で利用する際に、「どんな活動して来たの？」と必ず声をかけてもらいます。

⇒そんな会話から、青少年が話・相談ができる、居心地のよい場所を増やしていくこともすすめていきます。

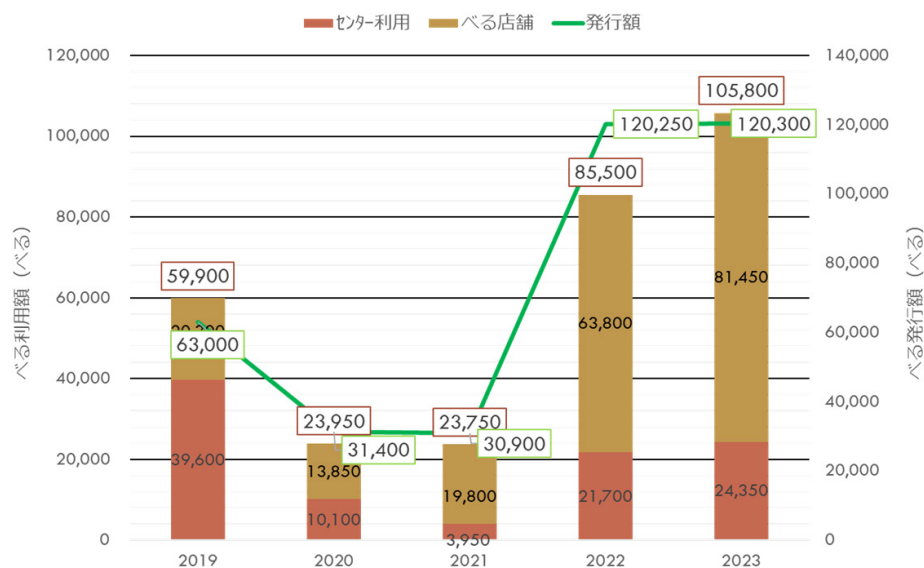


2、地域通貨「べる」

活動実績

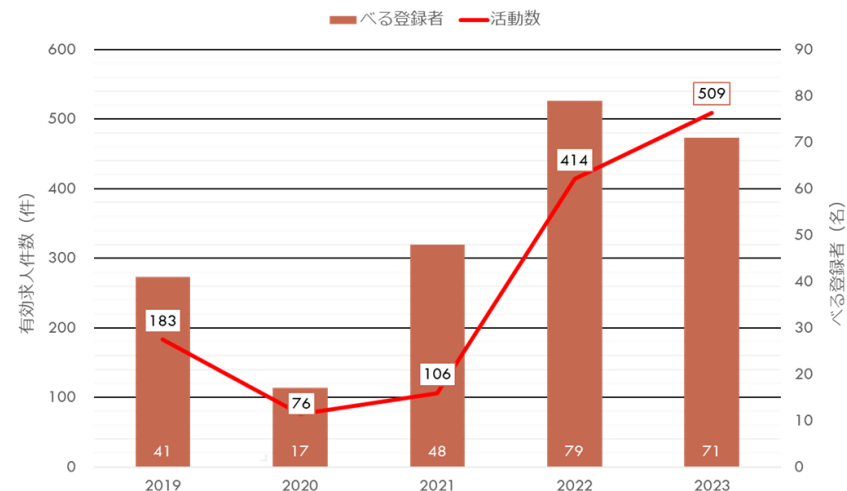
少しずつ「べる活」は広まってきました。
やませい内のカフェや子ども食堂の利用から、
パートナー店での利用も広がっています。

地域通貨「べる」 年間推移



- ・ べる発行額：120,300べる（前年度：+50べる）
- ・ べる利用額：105,800べる（前年度：+20,300べる）

地域通貨「べる」 年間活動数 推移



- ・ べる登録者数：71名（前年度比：-8名）
- ・ べる求人発行数：509件（前年度比：+95件）

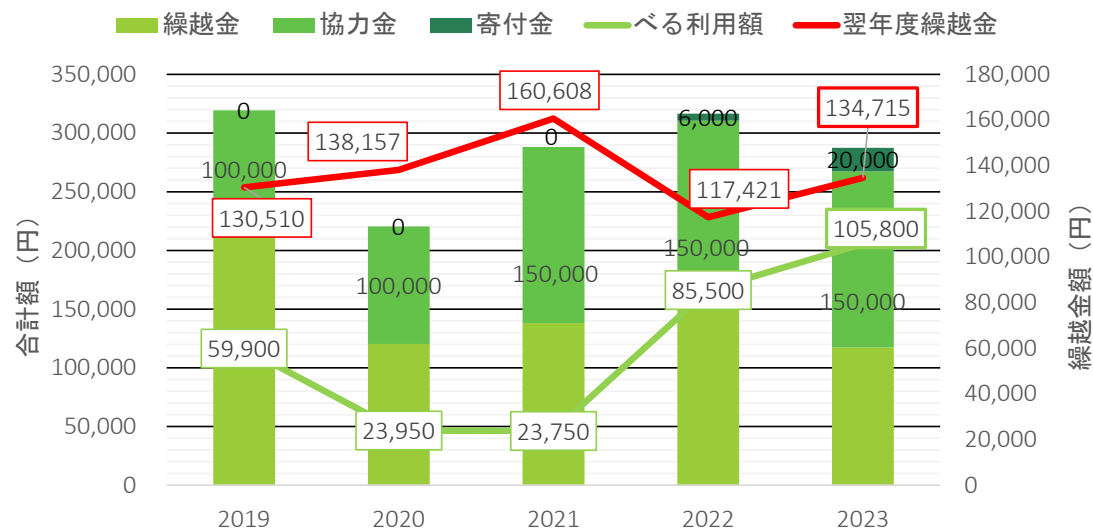


③これからの「べる」について考える

3、これからの「べる」について考える

課題その1：収入の確保

地域通貨「べる」 事業予算推移



※「地域通貨」の原資

地元の企業の寄付が活動資金です
センターには 地元の企業の方が
活動を応援するための会員組織があります

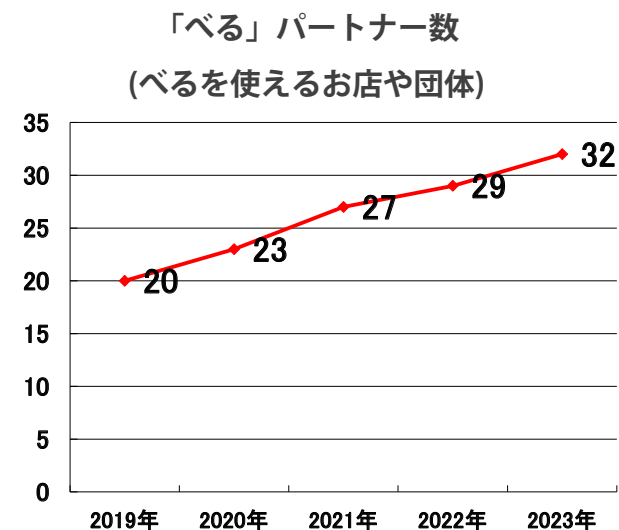
地域通貨「べる」利用額増加に伴い、従来の運用による活動だけでは立ち行かなくなる可能性が出てきている。寄付金含め、収入の確保は喫緊の課題である。

3、これからの「べる」について考える

課題その2:「べる」の普及促進

◆べる協力団体数: **32団体 (±0団体)**
※内、店舗数: 16店舗

開始時より緩やかに増加傾向にあるものの、基本的にはセンターのある山科駅周辺での店舗利用に限られている。いかにして「べる」を普及していくことができるか。



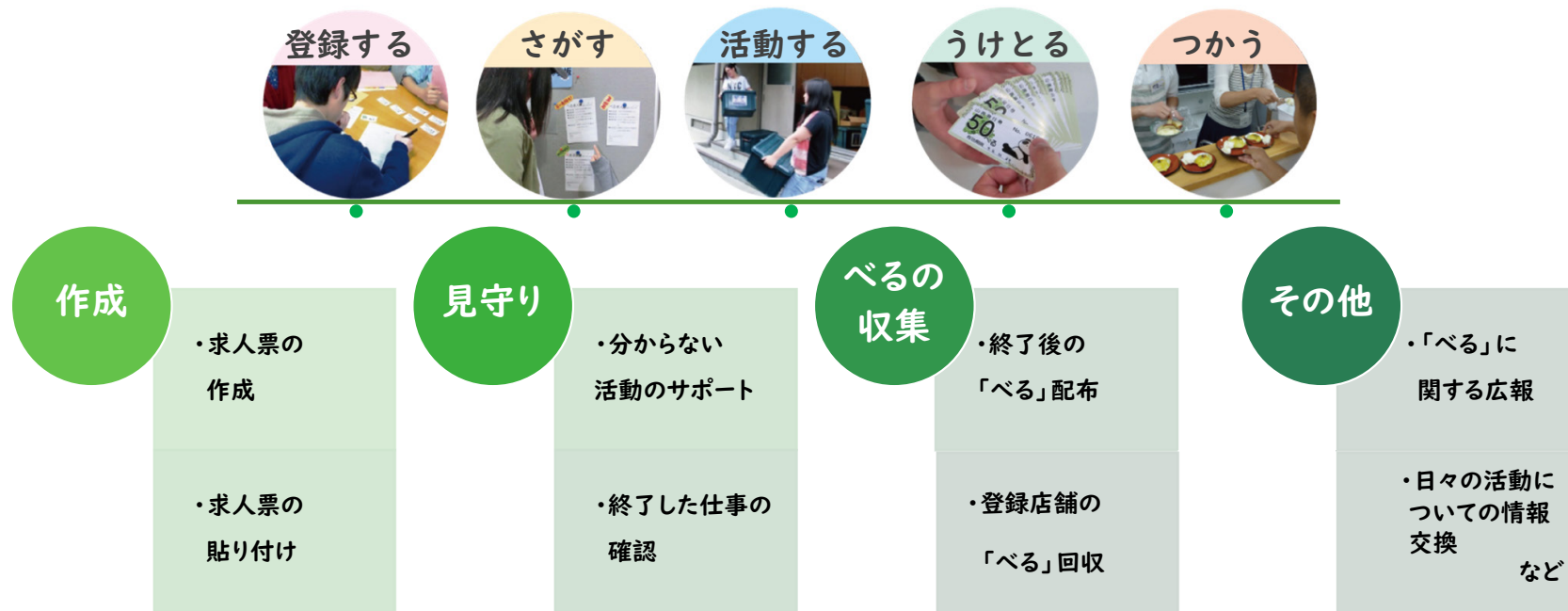
「べる」を実施してくれる店舗(パートナー店舗)を増やすための取り組み

「べる」パートナーへ登録する店舗条件

1. 中学生、高校生年代が「行ってみたい」と思える店舗であること
2. 地域通貨を通して、山科区で生活する「大人」が、若者と交流できるきっかけとなること

3、これからの「べる」について考える

課題その3:「べる」の担い手育成



「べる」の普及を進める上で忘れてはならない、「べる」を運営するサポーターの育成

3、これからの「べる」について考える

今後の展望

1. 山科区全域で「べる」が使えるように!

「べる」を知ってもらい、「べる」を使うことが日常になること。
ボランティアとして青少年と一緒に広めること。それらを通して、
青少年が地域とつながる機会になってもらいたい。

はぐみ文化」を共に高めていきましょう。

若者の成長と社会参加を応援

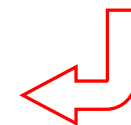
山科青少年活動センター

- 地域通貨「べる」
青少年が地域のための活動「べる活」で貯めて区内の店舗で使うことができる通貨を発行

京都府大学

- やましな未来プロジェクト
青少年に地域のボランティア活動参加の機会を提供

七夕陶灯路で地域の活性化



山科基本計画+
区民しんぶんに
のりました!

2. 活動者からサポーターへ。「経験の伝承」を!

「べる」活動を経験して、たくさんの経験をした青少年が成長し、次世代の中高生の
「べる」活を支えるサポーターに。そうやって、「べる」の活動が山科に浸透していったら…素敵ですね。

